

授業科目 臨床医学総論 I

【担当教員名】 追手 嶺		対象学年	2	対象学科	臨床
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○			
【概要・一般目標：G10】 疾患の成り立ち、各種疾患の病態、特徴について基礎的知識を習得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 理想的な臨床検査技師、臨床工学士になるためには、臨床検査業務、医療機器使用業務を実行するだけでなく、それらの意義を十分理解する必要がある。そのために上述の概要に記した修学が必須である。具体的には、 1. 各種疾患の場となる各臓器・器官の解剖学的特徴を考慮して疾患の成り立ちを理解する。 2. 各種疾患の場となる各臓器・器官の機能的特徴を考慮して疾患の成り立ちを理解する。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	概論（病気の原因、症状、その他）			1,2	講義
2	心臓・循環器疾患の概要			1,2	講義
3	呼吸器疾患の概要			1,2	講義
4	消化器疾患の概要			1,2	講義
5	肝・胆道・膵疾患の概要			1,2	講義
6	感染症の概要			1,2	講義
7	血液疾患の概要			1,2	講義
8	内分泌疾患の概要			1,2	講義
9	腎・泌尿器疾患の概要			1,2	講義
10	女性生殖器疾患の概要			1,2	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		臨床医学総論・臨床検査医学総論	奈良 信雄	医歯薬出版	
参考書		からだの構造と機能	A. シェフラー、S. シュミット	西村書店	
その他の資料		人体の正常構造と機能	坂井 建雄、河原 克雅	日本医事新報社	
【評価方法】 提出レポートの評価、 定期試験			【履修上の留意点】		